

平成27年度 第2回文化財保護審議会 会議録

〔事務局〕

文化財課

〔開催日時〕

平成28年1月7日（木曜日）午後3時～4時30分

〔開催場所〕

伊勢原市役所 3階 第2委員会室

〔出席者〕

（委員）鈴木良明（会長）、川島敏郎（副会長）、佐藤健、北條芳隆

（事務局）鈴木教育長、山口歴史文化推進担当部長、立花課長、井出主査、酒川主事

〔公開可否〕

公開

〔傍聴者数〕

0人

《審議の経過》

1 開会

2 あいさつ

3 議事

（1）協議

ア 伊勢原市歴史文化基本構想について

資料1を用いて、伊勢原市教育委員会より諮問のあった伊勢原市歴史文化基本構想について、事務局より説明

〔会長〕

よくできていると思う。案文のとおり、教育委員会へ答申してよろしいか。

〔全委員〕

異議無し。

（2）報告

ア 高部屋神社本殿、拝殿及び幣殿の国登録有形文化財登録について

資料2及びスライドを用いて事務局より説明

〔事務局〕

平成24年度に屋根の葺き替え工事があった。この時、管理の容易な銅板に変えてはどうかという話もあったようだが、氏子の方々の熱意により茅葺きのまま復元された。なお、正式な国登録有形文化財登録の告示は2月～3月頃になる予定である。

〔会長〕

茅葺きは、相当高価になると思うのだが、補助等は考えているのか。

〔事務局〕

登録有形文化財という制度は、現在存続が危ぶまれている文化財を、存続さ

せようと尽力されている地元や団体を励ます趣旨の制度である。今後登録文化財の中から指定文化財に格上げされていくものも出てくるとされる。そういった状況になれば補助制度を活用できるようになる。

[委員]

建物の話と違うのだが、高部屋神社にある雨乞いのお面や室町時代のお経は、現在どういう状況なのか。

[事務局]

神社で管理している。地元にとっては貴重なものであり、所蔵の獅子頭は、本格的な調査が必要と考えている。

イ 堀江氏からの寄附物件の今後の活用について

資料3を用いて、事務局より説明

[委員]

建物だけでなく、周りの風景や雰囲気も大切にしていきたい。

[委員]

市所蔵の写真にいいものが多いので、施設を利用して保管、公開できるようになればいいと思う。

[事務局]

まだ確定していないことも多いが、寄附物件を上手く活用していきたい。

ウ 日本遺産認定に向けた取組について

資料4を用いて、事務局より説明

エ 宝城坊本堂保存修理事業について

スライドを用いて事務局より説明

4 その他

国登録有形文化財建造物となる予定の高部屋神社の現地視察を実施